

No. 87
2016.5.1

宇治田原町 議会だより



《目次》

3月定例会.....	2・3p
人事案件・委員会報告.....	4・5p
予算特別委員会.....	6～8p
8議員が町政を問う.....	9～17p
議会報告会.....	18p
インタビュー(茨木澄子さん).....	19p

平成28年度予算

可決

3月定例会

基本目標と主な事業

こあふれる交流のまち

交流拠点整備等加速化事業 860万円
 わ池自然公園整備加速化事業 1129万円
 ちPR事業 30万円

子育てと学びを応援するまち

放課後児童健全育成事業 1830万円
 うじたわら学び塾運営事業 150万円
 総合文化センター・図書館 20周年記念事業 350万円

平成28年第1回定例会は、3月4日から29日まで開催した。予算関係12件(補正予算6件、当初予算6件)、条例関係18件(制定5件、改正11件、廃止2件)、一般議案2件(道路認定1件、その他1件)、人事関係1件が提出された。また、議員より修正動議2件が提出され、うち1件は修正可決した。その他発委1件が提出され、いずれも原案どおり可決した。当初予算については予算特別委員会を設置し、慎重に審議した。一般質問には8人の議員がたち、活発な議論を展開した。

会計別の予算

(千円以下切捨て)

会計名		予算額	前年度比 (%)	議決の結果	
一	一般会計	44億 500万円	+2.9	可決	賛成7・反対4
特別会計	国民健康保険	14億 1,026万円	+10.8	可決	賛成9・反対2
	後期高齢者医療	9,872万円	+7.8	可決	賛成9・反対2
	介護保険	7億 4,093万円	△11.4	可決	賛成全員
	公共下水道事業	6億 3,055万円	△27.3	可決	賛成全員
水道事業会計		5億 5,052万円	△3.6	可決	賛成全員
総額		78億 3,600万円	△1.1		

宇治田原の未来を見据えた

4つのまちづくりの

3月定例会

健やかに安心して暮らせるまち



活気

お茶の京都

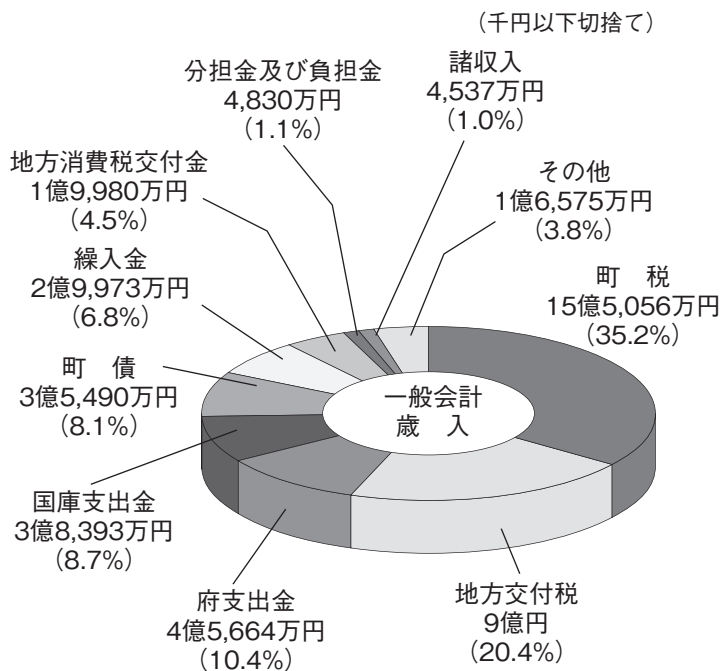
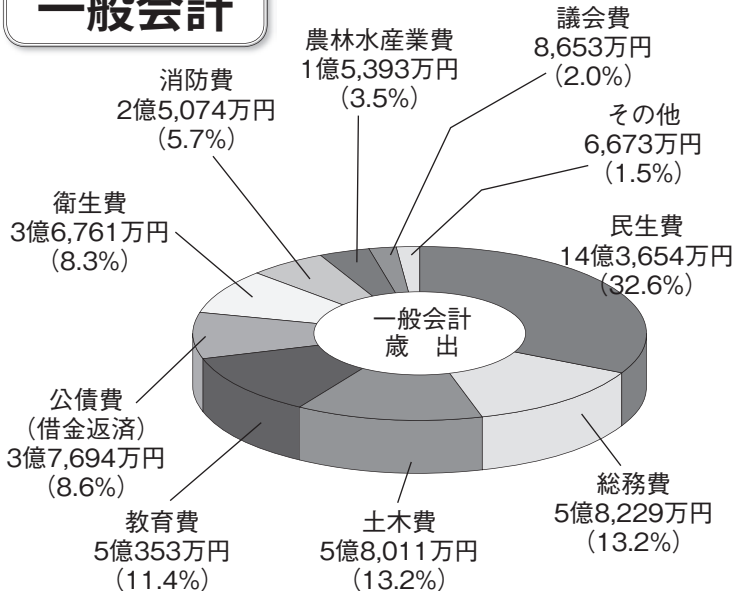
 末山・くつ

 ハートのま

便利で快適に過ごせるまち



一般会計



※端数整理上、予算合計と一致しません

人事案件

人権擁護委員の
選任同意

潮見博司氏
(郷之口)



矢野登代子氏
(南)



任期

平成28年7月1日〜

平成31年6月30日

(同意・全員賛成)

補正予算特別委員会

一般会計

問 空き家対策事業の実態調査は。

答 国等の対応も色々新たな情報が出てきており、出来るだけ対応したいとの思いで、時間がなかった。

問 くつわ池整備事業について、郷之口生産森林組合とはどの様な調整段階か。

答 具体的に個別の計画は策定されていない。大変大きな集客力があり、観光地になると認識しており、加速するよう進めていきたい。

介護保険会計

問 老健や療養型の施設が受け皿になり得なかった理由は。

町議会委員会条例の一部改正

答 老健の場合、医療行為が伴うと入れないという制約がある。希望されても受け入れがされないような状況もある。

条例

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(賛成多数)

職員の給与に関する条例及び特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正

(全員賛成)

条例(発委)

町議会委員会条例の一部改正

(全員賛成)

反対討論

一般会計

今西 久美子議員
議員、特別職の期末手当は増額すべきでない。移住定住促進に住居の確保は重要だが、対策は不十分。低年金者の支援は年金の増額、消費税増税中止をこそ国に求めるべき。情報セキュリティ強化に1300万円、どれだけ予算をかけても完全ではない。

反対討論

議員報酬等

関係条例
安本 修議員

今、消費税の増税や年金の減額、社会保障の連続改善などにより、住民の生活は、苦しくなる一方である。議員報酬が大幅に引き上げられたばかりで、住民の理解は得られない。

(千円以下切捨)

会計予算名	補正額	補正後の 予算総額	審議結果
一般会計	2億 208万円	46億 2,507万円	可決 賛成9・反対2
国保会計	256万円	14億 5,064万円	可決 全員賛成
後期高齢者医療会計	218万円	9,375万円	可決 賛成9・反対2
介護保険会計	△7,601万円	7億 6,176万円	可決 全員賛成
公共下水道事業 特別会計	△2,793万円	7億 7,897万円	可決 全員賛成
水道事業会計	収益的支出	△891万円	可決 全員賛成
	資本的支出	△1,946万円	

総務産業常任委員会

行政組織の改正に伴う関係条例の整備に関する条例を制定

ている。十分検証する中で整備していきたい。

(可決・全員賛成)

行政不服審査会条例を制定

町長部局においては条例で規定し、教育委員会においては規則で定めている。組織として整合性が取れていないのではないかと。答 条例で規定するのが基本であると認識し

不服審査会は三人をもって組織することだが、どのような専門的な委員の選任を考えているのか。答 専門的な知識を要す



役場窓口風景

委員会報告

ることとされており、一番は弁護士とされている。ただし顧問弁護士は不適格とされている。今後更に十分詰める中選任したい。

(可決・全員賛成)

町道路線の認定変更

重複する部分の道路の管理区分と経費区分について、議決が必要となるが時期的にはいつ頃を見通しているのか。

(可決・全員賛成)

詳細設計を現在進めている段階である。橋梁の形状が解ってきた段階において再度議事に報告していきたい。

(可決・全員賛成)

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定

(可決・全員賛成)

人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

(可決・全員賛成)

職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の旅費に関する条例の一部改正

(可決・全員賛成)

議会の議員その他非常勤の職員等の公務災害補償等に関する条例の一部改正

(可決・全員賛成)

消防団員等公務災害補償条例の一部改正

(可決・全員賛成)

ともに創るまちづくりに推進条例を廃止する条例を制定

(可決・全員賛成)

文教厚生常任委員会

宇治田原町診療所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例を制定

(可決・全員賛成)

宇治田原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

(可決・全員賛成)

今後においては町が指導・監査をすることとなるが、介護施設の高齢者への様々な問題などへの対応、把握に対しても町として十分対応できるのか。

(可決・全員賛成)

宇治田原町指定地域密着型介護予防サービスに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

認知症対応型通所介護事業所は現在町内にはないが、町としてニーズの把握は行っているのか。

本事業所は認知症に対して手厚い対応をするサービスとなり、費用的に高額となることから既存のデイサービスを利用される方が多く、現在町においても要望がなく、当面は現状でと考えている。

(可決・全員賛成)

事業所との連携、利用者への保護等の観点から取り組んで行く。

(可決・全員賛成)

(可決・全員賛成)

* 予算特別委員会の審議から *

予算特別委員会は、12人で構成し、委員長に稲石義一議員、副委員長に内田文夫議員を選出。3月16日から18日及び24日の4日間の日程で審査した。主な質疑は以下のとおり。

予算委員会

総括審議

問 人口減少対策は将来のまちづくりのベースになるものであるが、具体的な目標と施策をどのように具現化していくのか。

答 まちづくり戦略等に掲げる具体的な施策の推進により、全体として人口の増加を図ろうとするものである。

問 町の美化について、やすらぎの道だけでなく、町の玄関口等を重点

答 町道南北線周辺を「シビック交流拠点」と位置づけ、本エリアにおいて新庁舎建設用地に関する調査を進めているところである。

問 まちづくり戦略等に掲げる具体的な施策の推進により、全体として人口の増加を図ろうとするものである。

答 町道南北線周辺を「シビック交流拠点」と位置づけ、本エリアにおいて新庁舎建設用地に関する調査を進めているところである。



町道南北線シビック交流拠点



ALTの授業風景

一般会計

問 新庁舎建設用地の確定の時期は。

答 山手線との兼ね合いも十分勘案し、できるだけ早い時期にと考えている。

問 乳児の子育てに対する助成は、高齢者の介護用品補助に比べ少額すぎのではないか。

答 初めての事業であり、実施団体の事例等も参考に、年間2万円の助成から始める。

問 地籍調査の測量方法と実施域は。

答 国の基準点から光波等による測量を町内全域予定している。

問 英語力向上を具体化するため、ALT2名の中学校への重点配置を実施しては。

答 今後小学校高学年に

区域に指定し美化活動の推進を図ってはどうか。

答 地域指定が及ぼす効果や影響を勘案し、検討していきたい。

問 就学援助を拡充する考えはないか。

答 【答】経済的支援の観点から、実施に向けた調査・検討を重ねていきたい。

問 国民健康保険税の引

き上げ等住民の負担増をどう考えているのか。

答 住民の皆さんには、負担能力に応じた負担を頂いているものと認識している。医療費の増加による財源不足額を全て転嫁せず、一般会計から臨時措置として1500万円

円の繰り入れ措置を行った。

た。

おける授業教科化もあり現状の配置で対応する。

国保会計

問 組織改正により国保担当と介護担当が同じ部署になるが如何なる考えか。

答 有益な結果を得べく連携を図り取り組んでいきたい。

問 下水道の普及率は。

下水道事業会計

問 下水道の普及率は。

答 普及率向上を図るため、接続奨励金交付3年の期限を撤廃し取り組んでいる。

水道事業会計

【問】川東取水井の箇所決定の変更を考える気はないか。

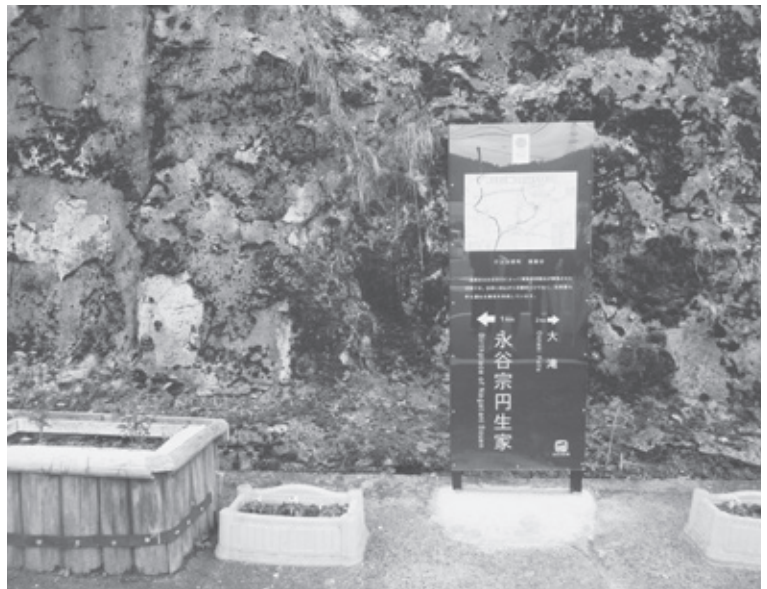
【答】平成22・23年度に於いての調査をふまえての結論で、変更することは考えていない。

条例

企業立地促進条例の一部改正

問 期間の延長だけで促進条例の中身の充実は変わらないのか。

答 第5次まちづくりの中の地方創生の施策も取り組む中で努力していきたい。



宗円生家案内板

まちづくり総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

反対討論

安本 修議員

庁舎の建設場所は、再考を求める。新名神で町が発展するというのは、幻想である。子育て世代をはじめとする住民の暮らしを支える施策こそ重要であり、人口ビジョンを達成することにつながる。

国民健康保険税条例の一部改正

反対討論

今西久美子議員

今回、一人約6千円もの引き上げとなる。保険税の引き上げは、滞納の増加、国保財政の悪化、さらなる保険税の引き上げの悪循環。「国保は福祉」との立場で、一般会計から繰り入れ、保険料の引き上げ回避を。

反対討論

今西久美子議員

一般会計

国保税や後期高齢者の保険料引き上げ、福祉給付金半減、子育て給付金は打ち切り、来年4月からの消費税増税で1人あたり2万7千円もの負担増となる。町長は、負担増には国や府に町として意見を発信していくとしながら、増税の中止すら求めない。これでは住民の暮らしを守れない。新庁舎建設予定地は、住民の利便性の面からふさわしくない。住民的な議論が必要。子どもの育児用品購入助成は1年間で2万円。高齢者の介護用品購入助成月5千円と比べてもおおそまつ。

賛成討論

奥村 房雄議員

一般会計

厳しい財政事情の中、事業の見直し等により歳出の適正化を図り、特に「少子化対策」や子育て世代の経済的負担を軽減する取組に重点をおき事業を拡充した。また新名神を見据え、宇治田原山手線・新庁舎の整備等の重要課題をはじめ、将来への基盤整備におおきな期待ができ、さらに「安心・安全」に関しては木造住宅耐震改修事業を拡充し高齢者の軽減策を講じるなど健やかに安心して暮らせるまちづくり施策も積極的に取組まれている。

修正動議発動

「一般会計予算・第5次まちづくり総合計画」について

発議者 内田文夫議員

理由説明

沿線市町でもない宇治田原町が JR 奈良線複線化促進協議会に加盟の明確な説明が受けられない中で第2期事業で補助金1億6000万円もの負担に応じ(第1期事業補助金3700万円)第3期事業で奈良まで完全複線化完了まで、従来通りとい

う感覚で他の関係市町に気を遣い向かう30年余り沿線でもない町が補助を続けることは、納税者である町民に対する背信行為であり、少子高齢化が加速する厳しい財政のもと、将来を見据えた選択と集中という視点から、第5次まちづくり総合計画策定を前に協議会からの離脱を決断すべき、と訴える。

修正案として、「平成28年度一般会計予算」議案から JR 関連予算441万円を取り消し、合わせて「第5次まちづくり総合計画策定」議案から JR 奈良線全線複線化促進等の文言を削除することを発議。

採択の結果は、

「一般会計予算修正関連」は、賛成5反対6で否決。

「第5次まちづくり総合計画修正関連」は、全員賛成で可決。



JR 奈良線

賛成討論

今西久美子議員

第2期工事については宇治田原町の負担額が大きく、費用対効果の点から問題。町が議会からの問題提起を真剣に受け止めず、議会との調整・検討もしないまま、協定を締結したことは問題。

これまでの経過

昭和46年の国鉄奈良線合理化計画表明を受け、同年奈良線合理化反対期成同盟に参加するも、合理化見送りで期成同盟を解散し、昭和49年奈良線促進住民共闘会議を設立。昭和55年促進住民共闘会議を解散。この解散時の会議録には「今年度から、京都南部地域国

鉄線等整備促進会議の予定」との記述があり、実際に6月5日に山城全体14市町と府、京都市で設立された。ただ、宇治田原町だけが促進共闘会議解散日の5月13日に昭和42年設立の複線電化促進協議会に加盟した。この件に関して、納得できる説明がない。



田原川の桜の下で

一般質問

ズバリ! 町政を問う

3月9日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	件名
1	上林 昌三	1. 高齢者の虐待防止対策を 2. 荒廃農地を市民農園に
2	奥村 房雄	1. 町長の政治姿勢は 2. 認知症の予防対策を
3	稲石 義一	1. 町長の施政方針について 2. 組織・機構の見直しと人材育成との関係は 3. 町診療所の施設活用を 4. 出会いと結婚までの支援を 5. 第2期地球温暖化防止実行計画は 6. 地方創生総合戦略での「教育」の位置づけ
4	今西久美子	1. 住民の「困った」に応える行政組織に 2. 保育所施設と園庭の整備を

	質問者	件名
5	垣内 秋弘	1. ゴミの分別と減量化、委託化を 2. ふるさと納税の現状と今後は 3. 投票率向上と若年者への指導・周知徹底を
6	谷口 重和	1. シビック交流拠点とその広域ゾーン 2. 山手線の進捗状況と予算規模は 3. 小規模特養の整備を 4. 宇治木屋線の今後の予定は
7	安本 修	1. 山手線の見通しとルート変更の考えは
8	山内実貴子	1. 子育て支援（ネウボラ）の推進で施設活用を 2. まち美化への共有した意識と啓発を

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴のためには本会議当日に町役場2階総務課で受付をしていただきます。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局（☎ 88 - 6641）までお問い合わせください。

荒廃農地の市民農園整備化を

【答】他地域の事例を参考に研究する

【質問】

町内には農業従事者の高齢化や後継者不足により、荒廃農地が多数見受けられる。

その対策としての市民農園整備について退職者をはじめとした住民の生

きがいづくり、安心安全

な作物に対する関心の高まりなど、人口減少対策にも少なからず効果があると思われるので一歩踏み込んだ市民農園整備の施策をしては。

【答弁(産業振興課長)】

荒廃農地については豪雨による土砂災害発生など、防災上の観点から解消に向けて取り組みなければならず、市民農園

はその抑止にとつても有効な手段。今後、関係機

関と連携を密にし開設について他地域の事例を参考に研究する。



上林昌三 議員

高齢者の虐待防止は

【答】適切な事業運営されるよう見つける

【質問】

高齢者が入所している施設、病院等で施設職員による施設利用者への虐待が以前、川崎市の老人ホームで男女3人が突き

落とされる事件があったが、本町にも介護施設や特養老人ホーム等があり、このような痛ましい

事件が起こらないよう虐待の見守りと早期発見や

早期対応のために町として何か対策をとっているのか。

【答弁(健康長寿課長)】

高齢者に係る虐待に関する情報を受けた際には、現状確認することを基本として対応している。



サンビレッジ

対応方策としては、自宅における虐待のケースでは、短期入所や施設入所により、虐待を行っている方と距離をとり、身の安全を第一としている。府により行われているが、適切な事業運営が展開されるよう今後共、関係機関と連携していく。

介護保険施設への指導は本町が指定及び指導権を有する地域密着型施設が無いことから、京都



荒廃農地を市民農園に

町長の政治姿勢は

【答】「百万一心」の気概で全力を尽くす



奥村房雄
議員

【質問】

町長が任期最終年となる平成28年度は町制60周年の節目の年、「第5次まちづくり総合計画」の初年度でもある。そこで「好きやねんうじたわら」と言ってもらえるまちづくりを今後どのように進めるのか。

【答弁(町長)】

町長が任期最終年となる平成28年度は町制60周年の節目の年、「第5次まちづくり総合計画」の初年度でもある。そこで「好きやねんうじたわら」と言ってもらえるまちづくりの推進に努めてきた。この基本姿勢は今後も不変で「百万一心」の気概でまちづくりの実現に全力を尽くす。

【質問】

町長は就任時に多くの公約を掲げられたが進捗の再点検により、公約の実現目標に向けて邁進いただきたい。そうした中、平成28年度の最重要課題とされている宇治田原山手線の整備、役場庁舎の新築移転事業については早い時期に住民に対し具体策を示すことが必要と思うが。

【答弁(町長)】

公約の実現に向けては待ったなしの町政運営が求められているものと捉えている。特に最重要課題と位置付けた、宇治田原山手線の整備、役場庁舎の新築移転事業についてはできるだけ早期に具体的内容を示せるよう全力かつ不退换の決意でぞむ。

認知症予防の取組みは

【答】外出・運動習慣の各種事業を開催している

【質問】

団塊世代が後期高齢者となる2025年には厚

労省は全国で認知症になる人が700万人を超えるとの推計値を出してお

り、これは65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になる計算となる。本町では認知症の早期予防にどの様な取組みをされているのか。

【答弁(健康長寿課長)】

各地域において、元気はつらつ若返り塾やおやじエクササイズを開催し外出・運動習慣を身につ

けていただく取組みを行っており両事業の参加者は200名超と好評をえている。そのほか認知症予防の担い手として、住民自主的サークルNYBの立ち上げと活動支援、社協との連携により地域サロンの支援等にも取り組んでいる。



皆が笑顔でふれあいサロン (禅定寺)



現庁舎

町診療所廃止後の施設活用は

【答】子育て支援センターも候補施設

【質問】

町診療所を廃止した後

の施設活用はどう考えているのか。

現行の見るに忍びない

手狭な子育て支援セン

ターの移転先として検討

されているかどうか。

【答弁(財政課長)】

公共施設等総合管理計

画では、「利用検討施設」

と評価を行っており、

「子育て支援センター」

の移転先も候補の一つで

ある。



手狭な子育て支援センター



稲石 義一
議員

婚活支援事業を近隣市町と連携して実施すべき

【答】魅力ある事業にするためには、広域的な事業展開は重要な視点である

【質問】

地方創生総合戦略で

は、結婚希望者の出会い

の場づくりを支援するた

め、婚活支援事業を継続

実施するとある。そこ

で、事業のマンネリ化に

よる参加者の減少防止の

ため、近隣市町と連携す

る中で、広域的な事業展

開として輪を拡げてみて

は如何か。

【答弁(福祉課長)】

昨今婚活事業が多数開

催されている中、内容が

マンネリ化することな

く、魅力ある事業にする

ためには、広域的な事業

展開は重要な視点であ

り、京都府とも連携しな

がら、積極的にイベント

開催など検討していき

たい。

高校生や大学生など青少年の成長を促す教育を

【答】「うじたわら学び塾」への参画など「頼もしい人材」として活用したい

【質問】

次代を担う青少年を育

て、成長を促す教育が重

要であり、高校生や大学

生への学び支援策や戦

略、例えば寺子屋制度や

地域の公民館を活用した

生涯学習等町独自の学び

の場を提供する取り組み

が必要と考えるが、如何

か。

【答弁(教育次長)】

この世代には、自立・

協働・創造に向けた力を

つけさせることが重要。

寺子屋制度(うじたわら

学び塾)への参画は、自

己啓発と郷土愛の醸成に

も大いにつながる。

また、地域ぐるみで学

びの向上を推進するにつ

いては、試行的に「モデ

ル地域」を設定し、実施

方法等検討したい。

住民の「困った」に応える行政を

【答】適切に対応するよう周知している



今西久美子
議員

【質問】

地方自治体の本来の役

割は、住民福祉の増進であり、役場に必要なのは住民の「困った」に応える総合行政である。町長

は公約で「くらしに安心安全」「行政に信頼と真心」を掲げているが、住民の方から、真心のない画一的な役場の対応について相談があった。住民

の様々な「困りごと」を一つ一つ解決してこそ、

安心して暮らせる。小さなことの積み重ねで、住民との信頼関係も築けるのではないかと。

【答 弁 (町長)】

住民の皆さんに真心をもって対応することは基本。相手の立場に立って何を求められているのかを把握し、適切に対応するよう日頃から職員には周知している。

【質問】

職員の知識の有無が住民サービスに格差を生む。役場職員として、住民の暮らしや営業をどう守るか、住民の「困った」

にどう応えるかという観点での研修の強化を。

【答 弁 (総務課長)】

町の人材育成基本方針では①住民から信頼される②適切な業務処理能力を備える③新たな課題に

【答】研究を重ねる 保育所園庭の芝生化を

【質問】

保育所は、子どもたちが1日の多くを過ごす施設であり、その生活環境を整えるのは当然のことだが、照明器具や時計など、修理に時間がかかりすぎるのではないかと。

【答 弁 (福祉課長)】

照明器具は、本体の取りかえが必要となり、2月に修繕した。屋外の時計は修理が不可能で、取りかえ工事を発注しており、今月中には完了する。

挑戦し、未来を切り開く④使命感を持って公平、公正に業務を遂行できる⑤職場で信頼される職員を掲げ、専門研修や接遇マナー研修等の各種研修を実施している。

【質問】

保育所の園庭にある築山は、雨で土が流れ、このままではまた立入禁止となるのではないかと。何らかの対策を。

【答 弁 (福祉課長)】

これまでから築山の管理方法についてはさまざまな方法で取り組んできたが、効果的な対応方法がない。今後、設置のあり方も踏まえ、検討していく。

【質問】

園庭の芝生化には、転んでもけがをしにくい、はだして遊ぶことで扁平足の解消が期待できる、強い風でも砂が飛ばない、夏の暑さ対策などのメリットがある。検討を。

【答 弁 (福祉課長)】

芝生化は安全面ではよいが、維持管理や子どもたちの遊びの面からも課題があり、今後、研究を重ねる。



住民の立場に立った対応を



庭を芝生化しては

ゴミの分別精度向上と減量化は

【答】違反シールを貼り精度向上に努める

【質問】

平成27年1月よりプラマーク容器包装の分別が実施し1年間経過したが、分別精度と現状の問題点及び課題の克服とゴミ収集の委託化は。

【答弁(町長)】
当初から異物混入の場

合、違反ステッカーを貼り啓発に努め徐々に良くなったが、夏場に資源化率が39.4%まで低下した。その後70%台まで回復した。問題はプラマーク容器包装物以外の物の混入や、汚れたプラマーク容器包装物(マヨネー

ズ・ケチャップ)が混ざって正常なものまでダメにしている。ゴミの減量化では年々減少しているが、将来の目標達成に向けて取り組みを進めて行く。委託は職員体制を考慮する中、今後の課題と認識している。

【意見】

汚れたプラマーク容器包装物が混ざって資源化率を低下させているが、洗っても汚れが落ちないものは、最初から可燃ごみに入れることも周知徹底すべきである。



垣内 秋弘
議員



ゴミ分別の徹底を

ふるさと納税の活発化を

【答】納税の積極的な促進を図る

【質問】

本町の現状と全国的にエスカレートしている「ふるさと納税」を、ホームページ及び返礼品の充実等を図り、基幹産業の

お茶を全国に発信し相乗効果を生む取り組みを。

【答弁(総務課長)】

平成26年度までは低調であったが平成27年度は一気に増加した。今まで

【答】投票率向上と選挙啓発に努める

投票率の向上と周知徹底を

【質問】

本年7月の参議院選挙から投票権が18歳に引き下げられる。投票率向上策や主権者教育の徹底を。

【答弁(総務課長)】

若者の社会や政治への参加は重要な課題であり一層の投票率向上と選挙啓発に努める。

は積極的に寄付金を呼びかける対応は実施しなかったが、ふるさと納税の充実、財源確保はもとより、本町の素晴らしさを魅力を知って頂き移住や定住促進にも有効な手段であり地域経済の活性化に繋げたい。



成人式での模擬投票

和東方面のトンネルは

【答】トンネル事業はルート検討中

【質問】

平成23年南バイパス完成により、城陽・京田辺市へのアクセスが容易になった。宇治木屋線は離合も困難な狭小道路である道路改修と合わせてトンネル事業はいつ頃か。

【答弁(町長)】

トンネルは、ルート検討中。南地域の整備状況は平成29年度から工事着手の予定である。



狭小道の宇治木屋線

シビック交流拠点を考え直せ

【答】今後の町の発展につなげたい

【質問】

この大きな開発を、これからの経済状況から見ても旧市街地から遠く、利便性にかけるので成功する可能性は相当低いのではないか。まして、新しい街づくりをして、そこに新庁舎を整備

【答弁(町長)】

町道南北線周辺における新庁舎建設用地の確保に、誠心誠意取り組む。



谷口重和
議員

小規模特養整備のめどは

【答】実現可能な方策を検討する

【質問】

これまで種々の質問を行ってきたが、平成28年9月にはなかった。当初

度には工事着工がされ補助金を交付とあったが、

計画のめどは。

【答弁(町長)】

更なる支援として町独自

自補助についても打ち出すことで、参入しやすい体制を整えた。



デイサービス萩の里

山手線と市街地整備で卵が先か鶏が先か

【答】次年度以降も予備設計をしつづける

【質問】

府の山手線進捗状況また予算規模と事業見直し。第5次総計の土地利用構想では、山手線が先ではないか。

【答弁(町長)】

今年度は予備設計として宇治木屋南バイパス交差点部から贄田・立川地区新市街地整備エリアまで約800mを実施していただき、引き続き実施したいとの回答もある。

国道307以南の山手線見通しは

【答】新名神開通に合わせる



安本 修
議員

【質問】

都市計画道路山手線、

特に国道307号以南については、バイパスとしての機能を果たす役割を持つっており、当然、渋滞も解消される。一刻も早い事業化が求められるが開始の見通しをどのよう

【答弁(建設課長)】

山手線の進捗状況について、

京都市の予備設計費が計上されたことは、大きな前進である。新名神の開通が平成35年とされており、合わせて供用できるよう努力する。

【質問】

現在の交通状況や住民

生活の交通安全等を見た場合、30年近く前に都市計画決定されている「山手線」のルートは、現状にそぐわない諸点が見られるのではないかと。特に大道寺地域を分断する、町道と平面交差するようなルートは、見直すべきとの地元住民からの要望もあり、変更すべきではないか。

【答弁(建設課長)】

山手線は平成3年に都市計画決定され、四半世紀が経過しており、その間の社会経済動向から、

まちづくり上の位置づけや必要性、土地利用のあり方や方向性などをふまえて、再検討が必要となる。また、町道との平面交差が必ずしも必要ではない。地元地域の声も十分に聞いて定めていく。



ルートはどうなっていくのか



大道寺地域

子育て支援にネウボラの取り組みを

【答】先進事例研究し、宇治田原らしい支援を推進



山内実貴子
議員

【質問】

子育て施策として様々な機会に困っていることや相談にのってもらえる窓口として、また、親子の遊び場ともなる施設利用についての考えは。

【答弁（福祉課長）】

子育て施策として様々な機会に困っていることや相談にのってもらえる窓口として、また、親子の遊び場ともなる施設利用についての考えは。親子が集える場についてはニーズが高く、必要性を感じている。まずは、地域子育て支援センターが子育て支援の拠点として役割を果たせるように

う、機能充実を図ってきたい。

【質問】

妊娠出産子育てと切れ目のない支援として、三重県名張市は、フィンランドのネウボラをお手本に名張版ネウボラの構築に取り組む。妊娠中の健康相談、出産後の全戸訪問、子育て中の母子や家庭の相談、また高齢になっても相談できる場所がある。このような場所づくりから生まれる高齢者と子ども達の交流や、ネウボラの取り組みについてどう考えるか。

【答弁（福祉課長）】

新年度からの組織改革においても、一貫した子育て支援体制の構築を目指していく。ネウボラのような妊娠から子育てまでの包括的な支援について先進事例を研究し、あわせて地域の人材の発掘・育成に取り組む、宇治田原町らしい地域との協働の子育て支援を推進していきたい。

【質問】

「町を美しく」と全町挙げての取り組みや清掃美化ボランティアの方々の活動をコーディネートし、宇治田原を訪れる方にもごみは持ち帰るなど徹底して周知・啓発活動をすべき。また、公共施設などの整備や管理体制が必要と考えるがどうか。

【答弁（環境課長）】

町内のボランティア（まちをきれいにする推進員）の方と年1回意見交換をしている。今後、会話を重ねどのような取り組みをしていけばいいのか話し合い進めていきたい。公共施設等の管理体制は職員を増員し強化している。

町を美しくする取り組みをさらに

【答】ボランティアグループとの会話重ね進める



まちを美しく!



もちつきでの交流（保育所）

第4回 議会報告会

平成28年2月14日(日)、総合文化センターにて第4回議会報告会を開催させて頂きました。

議会改革の一環として、住民に開かれた議会を目指し、議会の活動内容を広く情報発信するために始めた議会報告会も今回で第4回目を迎えることが出来ました。

私たちのまちでどんなことが進められ、そして、何に取り組むべきなのか。

私たちの生活と切り離せない『行政の取り組み』



を、チェック機関である議会の立場から報告するものです。

今回の報告会は、昨年9月及び12月定例会での審査内容を中心に、次の構成で行いました。

第1部：議会報告

- 総務産業常任委員会
- 委員会付託議案審査
- 観光振興計画

○ 地域防災計画改定

○ 第5次まちづくり総合計画

● 文教厚生常任委員会

○ 委員会付託議案審査

○ 新教育委員会制度

○ 健康づくり

● 決算特別委員会

○ 平成26年度決算の概要

第2部：意見交換

(テーマ)

① マイナンバー制度

② お茶の京都

③ 新庁舎建設

④ 子育て支援対策【町内で産み育てていくためには】

⑤ その他

● 意見交換で出された意見

- ・ 地域防災計画の改定はどの災害を対象としているのか？
- ・ マイナンバー制度について、個人情報保護される



のか。

・ 子育て支援対策としての具体的な事業取り組みが見えない。

・ 福祉バスの利用頻度を上げるための創意工夫を！

・ 山手線の全線開通に向けて議会においても全力で取り組んで頂きたい。

・ ふるさと納税はどうなっているのか。

● 今回、アンケート調査や意見交換会で頂きました貴重な意見については、今後の議会活動及び次回の報告会に活かして参りますので、宜しくお願い致します。

次回予定は8月です

是非、ご来場ください。

NYBネット♪ふれあい

茨木^{すみ}澄子^こさん



宇治田原町の地域サロンなどで「スリー A 方式 認知症予防ゲーム」を実践・推進しておられる、ボランティアグループの NYB（認知症予防ボランティア）ネット♪ふれあいの代表、茨木澄子さんにインタビューしました。

Q.『現在会員数は 33 人と聞いていますが、皆さんの入会のきっかけは』

A. 2 年前、地域のサロンでボランティアをしている人たちが認知症予防リーダー養成教室で研修を受け、そのメンバーで発足した認知症予防ボランティア団体です。

Q.『うれしかったことやよかったと思ったことは』

A. ゲームが終わり帰るときに「ありがとう」「また来てな」といわれるとホッとします。出向く機会も増え、人との出会いも多くなりました。

Q.『活動内容は』

A. 定例会は毎月 1 回ですが、社協、地域のサロン、ケアハウスなど要請があれば出向きます。
27 年度は町外にも招かれました。

Q.『今後の展開と PR は』

A. 要請があればできる限りは出向きたい。たくさんの人にメンバーになってもらい、いろんな所でスリー A ゲームを実演してほしいです。

Q.『困ったことや課題だと思ふことは』

A. 簡単だと思われがちゲームでも、それが元気さのバロメーターにも?!
定例会で先生を招き研修を重ねています。



楽しいゲームや人々のふれあいからの「優しさのシャワー」をいっぱい浴びて脳を活性化～笑うことが大切なんです、と茨木さん



初摘み



手もみ新茶「第1号」



ことぶき大学修了式

次回議会の予定
〈6月定例会〉
6月9日(木)開会日
詳しい予定はHPにて
お知らせします

今号の表紙

維孝館中学校の入学式
での記念撮影風景です。
ピカピカの一年生にピー
ス!!

編集後記

町行政は新年度を迎え
地方創生を加味した積極
的な大型予算が可決され
ました。そして第5次
まちづくり総合計画が
スタートする年でもあ
り、まさに今こそ住民の
皆様が注視し、将来を考
え見定めなければなりま
せん。今年は町制施行60
周年の節目でもあり、9
月には大きなイベントも
企画されようとしていま
す。町議会といたしまし
てもより活発に、一層精
進いたす所存でありま
す。今後とも皆様方のご
教授よろしく願いた
します。

広報編集委員 谷口